

(2) 商店街イベント振興助成

①富士本町軽トラ市事業

事業目的

「富士本町軽トラ市」を年3回開催し、商店街の活性化に寄与することを目的とする。



事業内容 (令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止)

歩行者天国となった富士本町通り約450mに、約80台の軽自動車を配置し、農産品や食品及び雑貨等の対面販売を行う。また、同時にダンスや太鼓演奏、抽選会等のイベントも行い賑わいを創出する。令和4年度までに計22回開催。

来場者数

(人)

開催月	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和4年度
6月	7,500	8,600	9,500人	11,000人	21,000人
10月	8,500	11,000	雨天中止	11,000人	15,000人
2月	7,800	8,400	11,000人	10,000人	15,000人
計	23,800	28,000	20,500人	32,000人	51,000人

主催団体

富士本町商店街振興組合

②吉原宿一の市事業

事業目的

商店街の活気を促すとともに、商店街に不足する業種の補足を目指し、空店舗の解消と地域住民に愛され、安心して買い物ができ、楽しんで来街してもらえる憩いの場及び地域コミュニティの場づくりを目的とする。

事業内容

毎月1日（1月1日を除く）に、各商店の店頭で統一外観を持たせたワゴン・のぼり等により逸品商品・目玉商品のアピールや販売を実施。約20店の外部出店は、お買い得菓子・自家栽培野菜や果物・惣菜・占い・東北支援販売(ボランティア)など多種にわたり、固定客もついている。一の市開催日は駐車場2ヶ所の無料開放も行い、通常の3倍程度の来街客で賑わっている。



主催団体

吉原商店街振興組合

③吉原宿宿場まつり事業

事業目的

商店街の賑わい創出を図るため、平成12年度「東海道四百年祭」をきっかけに、吉原宿の歴史・文化を活用した商店街と地域住民や各種団体が一体化した魅力あるまちづくりを目的とする。

事業内容（令和2・3・4年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止）

吉原本町通りを歩行者天国とし、東海道の宿場町、吉原宿の歴史・文化・まちの魅力を詰め込んだ祭りを実施。平成12年度から開催し、令和元年度で20回目となる。吉原祇園太鼓・よさこい・阿波踊り・ちんどんや・ミニ縁日ミニトレイン・出張展示館など、見て、参加して一日楽しめるイベントとなっている。



令和元年度は、ちびっこ防犯スタンプラリーとブラジリアン柔術が新規企画として実施された。

開催日前日の台風の影響から、本市のまちおこし団体である「富士つけナポリタン大志館」が出品したものの、道路交通状況により市外からの企画参加団体が来場できず、実施不可能なイベントが多くあった。しかしながら、新規企画の「ちびっこ防犯スタンプラリー」や祇園太鼓ステージ等などにより親子連れの参加が多く、大きな賑わいをもたらした。



来場者数

(人)

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
12,000	14,000	16,000	18,000	17,000

主催団体

吉原宿宿場まつり実行委員会

④吉原まるごとマルシェ事業

事業目的

平成28年度に開催された「2017東海・北陸B-1グランプリ in 富士」において、まさに大きな賑わいが生まれるとともに地域の魅力や文化を来場者にPRすることにつながった。今後のまちの活性化を進める上で貴重な経験となったことから、そのノウハウを活かし、今後のさらなるまちおこしと賑わい創出を目的とする。

事業内容

令和4年度は吉原本町通りを歩行者天国とし、B-1グランプリに参加しているまちおこし団体等の出展や、市内事業者を中心に各店がこだわりの逸品を販売する「こだわりマルシェ」のほか、地元アーティストが楽曲を披露する「石蔵小路ライブ」、地元写真家による富士山写真展などを実施し多くの来場者で盛り上がった。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催となったが、各種宣伝効果により賑わいをみせた。



来場者数

(人)

平成27年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和4年度
43,000	25,000	23,000	10,000	13,840

※平成27年度はB-1グランプリのプレイメントとして実施

※令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

主催団体

吉原商店街振興組合、よしわら若旦那CLUB、吉原まるごとマルシェ実行委員会